

平成25年度ミニタウン集会の概要

○開催状況

開催日	開催場所	参加者数
平成25年10月 3日(木)	中央公民館	95人
平成25年10月 9日(水)	浦庄分館	50人
平成25年10月16日(水)	高原分館	48人
平成25年10月22日(火)	藍畑分館	55人
平成25年10月28日(月)	高川原分館	47人

○主な意見・質問・要望と回答および対応

※回答および対応についての内容は、ミニタウン集会開催時および事後の対応(平成26年1月まで)が含まれており、現在とは状況が異なる場合があります。

意見・質問・要望(項目のみ)	回答(要約)又はその後の対応
①自治会や自主防災の案内を、必要人数分役場で印刷してもらえるか。 ②老人会の分も、役場で印刷してもらえるか。	①自治会には、地域振興事業補助金として、1世帯1,000円がでています。自治会それぞれの取り組みについては、補助金の中でお願いし、自主防災等、役場からのお願いについては、コピー紙を持ってきていただければ、役場でさせていただきます。 ②老人会につきましても、石井町から補助金がでていますので、老人会のほうでお願いします。
社会福祉協議会からAという指示を受け、それにBという指示を加えて印刷する時は、役場で印刷してもらえるか。	石井町の施策と関連するかを検討し、お受けするかどうか判断したい。
新しい庁舎ができたなら、住民にどのようなサービスがあるか。また、カフェテラス等、コミュニケーションスペースのような構想はあるか。	①防災拠点となる②段差のないユニバーサルデザイン③環境負荷の低減④IT化等が挙げられます。また、コミュニティースペースとしては、中央に設ける広い廊下の活用や議場を通常は催しなどに使えるように考えています。
企業誘致や若者の移住など、人口を増やして住みよい町にすれば、税金も安くなるのではないか。	町民税は所得に応じての税金ですので、人口が増えても個人負担は変わりませんが、企業誘致と人口増で町の税収が増えますのが1番ですので、計画はすすめています。
若い人にもっと自治会活動に参加してもらえる方法はないか。役場職員にもっと地域行事に参加してほしい。	1世帯1,000円の補助金を自治会活動や世代交流に活用していただきたい。役場職員も、もっと地域行事に参加していくようにしたい。
自治会の回覧板にカタログが付いてくるが、役場や社会福祉協議会のものではないか。	基本的には、石井町からは、物を売るようなことはしていません。社会福祉協議会からは、赤い羽根の募金等は回しますが、物の斡旋や販売はしていません。
再来年の3月に合併60周年になると思いますが、何か町の記念行事の計画はありますか。	石井町は平成27年3月31日で60周年を迎えます。多くの町民の方と、その節目を祝うとともに、これからの石井町を考える契機となるような記念行事を行えるよう検討していきたいと考えています。
税や保険関係の書類が別々に届くのは、大きな無駄ではないか。1つにまとめて郵送できないか。	通知については、それぞれ対象年齢や賦課期日が違うため、1つにすることは難しいので、ご了承下さい。
国保料が、町から県のほうへ移行していくと聞いたが、どう変わっていくか。	平成29年度移行に向けて計画中です。
国保税の100%徴収について	現在、石井町では、現年度分の国民健康保険税の徴収率は93%以上です。長期滞納者には、保険証を渡さずに、資格証明書(病院で全額負担)を発行して対応し、悪質な滞納者には、預金・生命保険・給与・年金等の差し押さえを行い徴収率の向上に努めています。

意見・質問・要望(項目のみ)	回答(要約)又はその後の対応
独居高齢者への認知症の早期発見や連絡・相談をどうすればよいか。	町職員は認知症サポーターの研修を受けています。周囲の方で認知症を疑われた場合は、まず町職員にご相談ください。担当の長寿社会課と地域包括支援センターへと連携します。
老人会に、金婚該当者の情報を教えてほしいと長寿社会課から依頼されているが、個人情報のこともあり、町のほうで調べてほしい。	町が主体として行う行事ですので、できる範囲町で調査いたします。平成26年度より、広報いしいへ募集記事を掲載するとともに、該当する年に町より招待できるよう事前受付も行う予定です。老人会の皆様には、今後も募集を行っていることに対する広報に、ご協力お願いいたします。
デイ・サービスを元気な人が利用しているのは、税金の無駄遣いではないか。	外見からは判断できません。税金の無駄遣いとならないよう公平・公正なサービスを行います。
モラルの問題だが、自分の犬のフンは自分で持って帰ってほしい。条例で罰則も作ってほしい。	町では「犬のフンを掃除しましょう」という看板を作っています。有線放送でも流しています。今のところ罰則までは考えていませんが、啓蒙・啓発に努めます。
浦庄団地の進入路の上にある墓地の側壁が、側溝が割れて、傾いてきていることについて。	現在、土留め壁を安定させるアンカー工法を検討しています。平成26年度当初予算に設計・工事費を計上し、対応の予定です。
町の遊休地に、太陽光発電を付けてはどうか。	町有地で未活用の土地のうち、上板町引野の共有地につきましては、太陽光発電業者と賃貸借契約を結び、発電を開始しています。また、最終処分場につきましても検討しましたが、結果として断念しました。
火葬料が5,000円から、町民負担が増えるとのことだが、徳島市・吉野川市との対応や、今後どうなるか。	来年4月以降は、大人2万円となります。石井町は、昭和50年代前半から、ずっと5,000円でやってきましたが、周辺市町村のことや今後の負担を考え、ずっと5,000円でいくことは難しいと判断し、この時点で2万円に上げさせていただきます。町外の火葬場を使用する場合は、徳島市8万円、吉野川市10万円です。
火葬場について	石井町が現在委託している火葬場は老朽化しています。以前火葬場があった藍畑にも半年くらい前に議員さんが尽力してくれたが駄目でした。今後も建設に向けて努力してまいります。
街灯が少ないので増やしてほしい。	町内には、約2,200灯あり、年間約700万円の予算を使っています。少しずつですが、新設や取り替えもしていますので、ご申請ください。周りに農地がある時は、周囲の方の同意が必要になります。
認定子ども園について。①保育所と幼稚園のシステムの連携はどうなるか。②小さな子どもから、大きな子どもまで、いっしょの建物で過ごすのか。	①幼稚園と保育所のそれぞれ良いところを活かし、質の高い保育を提供します。保護者が共働きの方や自宅で保育されている方、働いている・いないに関わらず、認定子ども園に行くことができます。また、保育園・幼稚園にまだ行っていない小さな子どもも、お母さんが子どもを連れて、子育て支援や相談を受けることができます。②年齢ごとの保育室で過ごすので、共有・交流するところはありませんが、基本はそれぞれ年齢別に教育・保育することになります。
保育所・幼稚園がいっしょになっても、先生の連携はとれますか。資格・免許も違うのではないか。	保育所と幼稚園の連携については、ほとんどの職員が両方の免許を持っています。認定子ども園は、保育教諭という名称になります。
幼稚園と保育所は、文部科学省と厚労省で管轄が違うが、認定子ども園はどうなりますか。	今はそれぞれ管轄が違いますが、平成27年度からの新制度に移行されると認定子ども園の管轄は、内閣府になると聞いており、情報収集に努めたいと思います。
浦庄の幼稚園や保育所は、今後どうなりますか。	幼稚園については、浦庄・藍畑・高川原幼稚園は存続させ、高原・石井は、認定子ども園として統合予定です。浦庄保育所は、石井町内建設予定の3カ所の認定子ども園が整備されるまで調整期間として存続させ、最後は閉所となります。

意見・質問・要望(項目のみ)	回答(要約)又はその後の対応
認定子ども園は、公立と民間で保育料の差はあるか。	保育所と幼稚園の保育料、認定子ども園の保育料について。一般的に、幼稚園は私立が高い傾向にあります。保育料は所得に応じてですので、どちらも変わりません。これをベースに、認定子ども園の料金を考えていくことになると思います。
認定子ども園を石井地区で作る場合は、私立と公立が選択肢にあると聞いたが、藍畑地区は、幼稚園はそのまま残して、忠勇跡地に私立の認定子ども園を作ると聞いたが、どうしてか。	石井町がもともと町立でやっているところは、公立で残します。藍畑の幼稚園も残します。藍畑には、もともと保育所がないので、認定子ども園が出来るならプラスになるのではという考えです。
高原地区の人で、認定子ども園が出来ると知らない人もいます。対象者に限らず、石井町全部の方にあてて、情報が行き届くように説明会を開いてほしい。	各地区で説明会をしています。また、それぞれの地区で問題も違いますので、ご了承ください。
石井と高川原の幼稚園を統合したいというお話がありましたが、高川原地区の人口は増加しているし、若い方も多いと思うのですが。	2030～2040年には、石井町の人口は、約4,000人減り22,000人くらいになるという統計が出ています。高川原幼稚園は耐震改修できますので、そのまま存続させます。高川原保育所は石井地区と統合予定です。石井地区に認定子ども園ができる計画ですので、そちらへ行っていただくようになります。
町民体育館の跡地に、施設の要望を出したのですが、その後はどうなっていますか。	平成26年度に、現在の学童クラブの横に、増築を考えています。
婚姻届の時に、風しんの予防接種をパンフレット等で啓発してはどうか。	風しんの予防接種費用(平成25年11月1日接種分より)を助成しています。平成26年4月以降も徳島県の無料抗体検査が続く限り継続したい。また、石井町役場住民課に婚姻届提出時に、風疹予防接種を勧奨する「ふじっこちゃんメモ帳(HAPPY MARRIAGE)」を配布しています。
①石井・浦庄地区の燃えるゴミは、月曜日で連休で休みになることが多いので、回収するようにしてほしい。 ②年末はゴミが多いので、12月31日に全町回収してほしい。	①石井・浦庄地区の可燃ゴミは、カレンダーどおりに行くと月曜日に祭日等が多く、収集日が少ない状況にあります。祭日等に特別収集日を設けて対応します。 ②年末年始については、暦に関係なく12月29日及び1月4日に収集することで新年度のゴミカレンダーを作成中です。
国道192号線沿いの玉郎のところの入り口を拡幅してほしい。	国道192号線からの入り口の床版(橋)の拡幅につきましては、国道192号線を管理する国土交通省徳島河川国道事務所に対し、現地の状況を説明したうえ、今後の拡幅計画案等については、松茂町にある国道出張所を通じて協議していくことで合意済みです。
本条の1番奥の利包の溝に、以前、蓋をしてもらえなかったが、どうなっているか。	平成25年末に工事発注済み。現在、業者との現場打ち合わせも終わり、平成26年3月末までに、工事完成予定。
本条橋の耐震について。迂回する必要があるのですが、時期を正確に教えてほしい。	なるべく交通に支障のない工法で行えるよう考えています。時期としては、渡内川の水位が下がる平成26年度の秋以降を予定しています。
麻名用水事務所の南から西へ、名西高校のほうへ設けられている用水路に、蓋は出来ないか。	麻名用水土地改良区との協議の結果、用水路に蓋をかけることについては、通水を阻害する要因となるため、原則、不可としているとのことです。また、非常に危険な所で、どうしても蓋をかけなければならない場所等については、協議に応じていただけるとのことです。
八幡神社へぬける諏訪23号線について。穴が開いているのを均してほしいと去年からお願いしているが、まだ出来ていないのは何故か。	排水の面で、地元住民との協議を行っている。地域の合意形成ができ次第、工事を行っていきたく考えていますが、沿道関係者との交渉を行う中、排水の末流処理等の問題で、地元合意が得られず工事着手に至っていません。交渉継続中です。

意見・質問・要望(項目のみ)	回答(要約)又はその後の対応
上浦と鴨島の境について。国道の南に住んでいるが、今年も水が出て島ようになった。水害対策はどうなっているか。	石井町には冠水箇所が何十箇所かあります。河道改修と河道拡幅しか改善策はありませんが、国と県の直轄事業ですので、今後も、国・県に要望していきます。
石井町と吉野川市との境の道路は、どちらの管轄になるか。	ご質問のあった道路(町道上浦71号線)につきましては、全面石井町の管理であることを吉野川市とも確認しました。
麻名用水の清掃について。中のものを道路に放り出してそのままになっており、かえて美化を損ねているのではないか。	麻名用水路と町道が並んでいる場所については、道路を広く利用するために、町が麻名用水土地改良区の土揚げ場を利用させてもらっています。この場合には、ご連絡いただいたら、町が浚渫土砂を取りに行き処理しています。なお、町道がなく田畑の中にある麻名用水路については、麻名用水土地改良区において、用水路の清掃及び浚渫土砂の処理を行うことになっています。
用水に吉野川市から、生ゴミ等が流れてくる。個人のモラルかもしれないが、麻名用水に町からも伝えてほしい。	麻名用水土地改良区及び吉野川市役所に出向き、ご指摘のあった事項等を担当者に伝えました。
下浦南には3ヶ所谷があり、構造上の問題で、一部が地下にトンネルになっていて、底のところに網が付いている。大雨時に、網がゴミでつまり水が東西に川のごとく流れ、水が引いたら土砂がたまる。なんとかならないか。	排水路内に設けられたスクリーンは、落ち葉等を取り除くため設けられていますが、大雨時には、大きめの木の枝等がかかり、通水を阻害することによって、水路内の水がオーバーフローしていると推測されます。地形的な問題から、スクリーンの撤去はできませんが、現状より目の広いものと交換してみてもどうか、現在、取り替えのスクリーンを制作中です。
諏訪東の踏切が、真ん中だけ幅が狭く2m80cmしかない。この間も落ち込んだ人がいるのでどうにかならないか。	JRの軌道の中であり、石井町ではどうすることもできないので、JRIに伝えておきます。
浦庄小学校から国道に出る道を、もう少し広くできないか。	地元の議員さんを介して関係者と協議を行い、土地地権者からも道路拡幅のための用地提供について承認いただきました。現場工事発注に向けて準備中です。
町道に沿っている家の庭木が、30cmも道路に出ているところがある。モラルの問題だが、お願いする方法はないか。	町では、連絡があり次第、所有者を調査したうえ、切ってもらえるよう公文書で要請しています。
旧道から喜久寿苑への町道の交通量が多いので、待避所を2ヶ所くらい早急をお願いしたい。	町では、道路の拡幅や待避所の設置等については、基本的には用地の寄附を前提としています。過去に拡幅改良工事がなされているようで、新たな寄附は少し難しいように思われますので、ご要望のあった喜久寿苑に向かう南側のルートだけでなく、北側や西側からのルート等も拡幅改良できないか調査検討し、問題の南側ルートへの車両の流入を少なくしたいと考えています。
町道の側溝について。コンクリートで古く、土砂が入って流れない状態になっている。町のほうでどうにかしてもらえないか。	原則として、地域の方に取っていただいて、上げていただいた土は、町が回収に行きます。自治会には、少しの補助金が出ます。蓋が上げにくいということであれば、グレーチングへの変更や蓋を上げる機械も、町で貸し出ししています。
側溝のグレーチングがなかなか上げられない。新聞でエア洗浄の機械を見たのですが、石井町でその機械を買ってしてもらえないか。	エア洗浄は、水と一緒に吸い込まないと機能しません。また、泥も取れないので、石井町で買うのは難しい。出来ないところや危ないところは、状況を見て、業者に頼んでいますので、建設課へご一報ください。
「ふじわら」を小学校へ入る道が、入ると急に歩道がなくなっているの、なんとかならないか。	歩道を設けるには、ある程度の道幅が必要です。用地の寄附が前提となりますので、ご了承ください。

意見・質問・要望(項目のみ)	回答(要約)又はその後の対応
<p>①宝光寺の南側の路肩の舗装をしてほしい。 ②宝光寺近く高原47号線東側の側溝に蓋をしてほしい。</p>	<p>①現地を確認し、業者に発注しています。 ②現地確認し、図面と合わせた結果、個人所有の水路でしたので、ご了承ください。</p>
<p>喜久寿苑北100m付近の高原8号線が、幅員2mくらいしかなく、トラクターが落ち込みそうになったこともあるので、幅員4mになるようにして舗装をしてほしいと地権者9人が相談し、皆が寄附に賛成してくれたが、町のほうの方針はどうなっているか。</p>	<p>麻名用水土地改良区と協議のうえ、安価な工法等について検討していきたい。</p>
<p>飯尾川の排水について。1市2町で相談して、角の瀬排水をあと2～3門要望し、飯尾川から吉野川への排水をもっと良くしてもらいたい。</p>	<p>河川の改修及び管理は、国・県が行っています。角の瀬は、40トンのポンプを計画しているが、今は20トンですので、今後も要望していきます。排水対策としては、水門の増設案もありますが、河道の改修が1番だと思えます。徳島市不動の第2水門の完成及び河道幅17mの加減堰が一部撤去され、現在35m(最終55m)になったことで、飯尾川等の氾濫による内水面被害が軽減されると思われれます。</p>
<p>高畑南の団地について。大雨時に水を抜いてもらったりしているが、少しでもどこかに水が抜けるように、排水のようなものを作ってほしい。</p>	<p>北へ西へ南へと水を抜く方法を検討したが、根本的には勾配がとれないので、①水の溜め場所を1ヶ所作って、ポンプで排水する。②今の団地まで、道路高を上げる。という2つの方法しかないと思うが、②の方法は同意が得られていないので、①の方法で検討しています。</p>
<p>①道路の舗装をもっときれいにしてほしい。 ②排水も、台風が来たら、いつも溢れるので、何とかしてほしい。</p>	<p>①舗装については、通報があったら現場を見て、優先順位を付けて直していきたいと考えています。臨時職員が穴埋めに行き、無理なところは外注します。②排水については、内水面被害の対策として、加茂野にある加減堰が一部撤去されました。また、渡内川と飯尾川との交差部分の隅切りについても完成しましたので、水の引きが早くなると思えます。</p>
<p>いしいドームの流水プールが、壊れて半年くらいになる。出来るだけ早く修理をお願いしたい。</p>	<p>業者に見積もりをとったところ、何百万円もかかると言われており、大きな事業を抱え、税収が減っている中ですので、しばらくはそのままでご辛抱お願いします。濾過装置は稼働していますので、水質自体はきれいに保たれています。</p>
<p>空き地・耕作放棄地・空き家等の増加現象と対策について</p>	<p>①高齢化等により所有者が管理できないものが増えています。基本としては、ご自分の財産はご自分で管理されるのが前提ですが、離れた所に住んでいる等、所有者が気付かないこともありますので、草刈りのことや廃屋に近いものについて町に連絡が来た場合は、町から通知を送付したり、直接お話をしたりしてお願いしています。町営住宅についても老朽化が進んでおり今後、耐震化・外壁塗装等の修繕や、修繕効果の少ない老朽施設の集約や建て替えを予定しています。 ②耕作放棄地は本来、耕作していただきたいのですが、出来ていない農地は、農業委員さんに見回りや個別訪問していただき、草刈り等をお願いしています。また、いきいき農業振興課では、農地の貸し借りができるよう、情報提供を窓口で行っています。</p>
<p>稲わらが大雨の度につまる。近所に迷惑がかかることを広報したり、指導してほしい。</p>	<p>昨年より8月頃から、CATVで広報を流し、刈った後、すき込んでいただくようお願いしています。</p>
<p>農業大学校跡地について</p>	<p>県と協議を重ね、有効な利活用ができるよう協議を進めていきたいと考えています。</p>
<p>ミニタウン集会の事前ご意見の投函箱を、木製・施錠付にしてほしい。</p>	<p>各公民館で短期的に受付するものですので、ご意見をいただいて中が見えないように、のり付きの封筒で投函していただけるように変更しました。普段のご意見箱は、役場玄関にステンレス製・施錠付の丈夫な箱に投函できるようになっていますので、ご了承ください。</p>

意見・質問・要望(項目のみ)	回答(要約)又はその後の対応
森永乳業の跡地について	ある企業が森永の跡地に行きたいという話があり、森永の本社を訪問したが、会長の思い入れがあり、跡地は売らないという強い意志を持っているということだった。今後も友好を深めていきたい。
石井地区のミニタウン集会で、認定子ども園の意見が出なかったということだが、若い人の意見をもっと聞ける場所があればいいと思う。	ミニタウン集会の事前のご意見受付や、役場玄関の「ご意見箱」・郵送できる「町長へのハガキ」等をご活用ください。
インターネットやスマホをしていない町民に、情報を早く広報するにはどうするか。自治会に紙で情報を出せば、もっと伝達されるのではないか。	町の広報誌やホームページ以外には、月1回の徳島新聞の「町政だより」や月2回のFMとくしまの「フレッシュタウン」のラジオ放送もしています。自治会へ回覧をお願いすることについては、情報の取りまとめや会長にご迷惑をかけることになり難しいと思います。有線放送の文字放送を使えば、インターネットを見られない方も早く見られるかもしれませんので、検討します。
防災ハザードマップ、水害ハザードマップがでていますが、分類が2～5mとなっている。次に作る時には、もっと細かく区分してほしい。	平成19年度にハザードマップを作成しています。冠水箇所のマップを作ってはどうかという意見もあり、建設課、いのちを守る防災・危機対策課では、冠水時に主要道路にコーンを設置した箇所の位置図を作っていますので、閲覧は可能です。費用がかかりますので、大きな宅地造成などがあれば、もう少し小分けした地図を作成したい。
浦庄地区で南海大震災のような地震がもし発生したら、避難する場所はどのくらいあるか。また、長期避難の場所は。	一時避難の場所として、消防詰め所。長期になると、指定避難場所。浦庄地区の場合は、浦庄公民館や浦庄小学校など。備蓄品を充実させるようになっています。
諏訪の詰め所がどうなっているか。	現在の詰め所の位置に計画しています。一時避難所を兼ねて、30～40坪の間で予定しています。
西覚円の場合、三郎広場は避難場所として大丈夫か	広域避難場所になっております。
災害時の避難経路について。たくさんの人から、いざ災害の時に、どこに逃げたらいいのかという声が多い。どの経路が安全か。避難経路の標識を設置してほしい。	通常は、各自主防災組織で防災訓練として避難所までの道を考えていただいて、すすめてもらっている。ブロック塀の倒壊などがあるので、できるだけ広い道を選んで、行と帰りを違う2通りで訓練し、決めていただきたい。避難所には「避難所」の立て看板がありますが、経路の標識の設置は、かなりの数が必要となり、公共のところはいいが、個人の所有地もあります。また、立て看板が二次災害につながることも考えられるので、訓練の中で確認し、覚えていただきたい。
津波が来たら、藍畑小学校があるというが、鍵がかかっていることもある。緊急時は、窓を割って入ってよいか。	広域避難場所でも指定避難場所でも、ガラスでも何でも壊して入ってください。
防災交流センターの利用促進について①平成24年7月1日～平成25年6月30日までの間、午前・午後・夜間で何回の利用があったか。②利用料金収入はいくらか。③防災交流センターの維持費はいくらか。④民間の採算ラインを参考に、維持費の回収をしてほしい。	①午前68回・午後53回・夜間12回で、合計133回の利用がありました。②合計で74,500円です。地域防災強化推進モデル事業により整備し、2,500万円の補助金をいただいて、建設しております。よって、防災目的の使用に関しては、使用料免除となっております。③社会福祉協議会の業務委託料が、年間約24万円。インフラ料金(電気・水道・電話等)の年間予算が、約60万円です。④自主防災組織の強化等を主たる目的とした施設として、補助金で建てられておりますので、ご理解ください。
防災交流センターの周囲が暗いので、外灯をつけてほしい。	建物の西壁にLEDの外灯を設置しました。

意見・質問・要望(項目のみ)	回答(要約)又はその後の対応
<p>フードバンクに災害備蓄品を提供した件について。年内賞味期限のものならば、町のボランティアフェスティバルやクリスマス会で消費すればよかったですのではないかと。町民の税金で購入しているのであれば、防災食の味見や子ども達が食べない等あれば各家庭での準備の後押しになるのではないかと。</p>	<p>各避難所の食料の備蓄品は賞味期限があるので、防災訓練や町内行事などで賞味期限を伝えて提供しています。今回提供したのは、その中の一部です。町内が基本ですので、ご要望があれば提供します。フードバンクには、有効に使っていただけたらと提供しました。ボランティア的な活動について、大きな考えでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>南海大震災のような地震が、もし昼間に発生したら、学校側はどこまでやってもらえるか。</p>	<p>学校の対応としては、各保護者に連絡がとれるようになっています。また、学校用の備蓄品があるので、短期間では対応が可能。防災用の自販機も設置しています。震災の程度によって、子ども達を安全にとどめておくことが、難しいこともあるかもしれませんが、訓練を行って対策しています。</p>
<p>土曜日授業について。①教職員と子ども達が意欲ある授業ができるのは、月2回は難しいのではないかと。月1回ではどうか。②県の大会など、土日に開催されているところもある。試合と授業が重なった場合はどうするか。</p>	<p>①平成26年度から、月1回・毎週第1土曜日に実施します。授業内容については、2月中旬に各学校より提出を求め、協議します。②スポーツ大会の参加についても、できるだけ子ども達に影響のないよう実施します。</p>
<p>①耐震化した3つの幼稚園は、何年もつか。その後は、統合したり、建て替えたりするのか。②藍畑幼稚園が使えなくなったら、私立のほうへいくようになり、保育料が高くなるか。</p>	<p>①耐震化について、専門家の判断によると、評点1.0あれば震度6でも倒壊しない。補強前は、浦庄0.34、高川原0.50、藍畑0.46。補強後は、浦庄1.04、高川原1.01、藍畑1.02。延命化作業については、文科省のほうで、筋交いを入れる等の指針がでたら、耐震補強して、その後国からの延命基準に準じて、10年もつところを15年もつようにしていくことになると考えられます。②今の現状を耐震化・延命化し、その後、何十年も先のことなので分かりません。</p>
<p>幼稚園の給食や午後7時までの延長保育などしていますが、英語教育も町立だけでやってしまうという考えはあるか。</p>	<p>なるべく民間に近づけようと英語教育を始めました。民間はお金をかけて競争してやっています。私立のようなお茶室や武道館まではできませんが、英語ならできるだけ近づけるのではないかとがんばっています。</p>
<p>英検の補助は3級からだが、もっと下の4・5級にも補助金を付けてもらえたら、受ける子どもが増えるのではないかと。留学も、一部の英語が好きな子どもしか行けないので、少しでも英語に興味がある子どもにも、もっと平等に英語に触れる機会を作ってほしい。</p>	<p>英語教育について、予算を公平に使えるように、検討させていただきます。</p>
<p>子ども達の携帯電話やスマートフォンの使用について、入学時には携帯電話会社の人が来て、有害サイトのプロテクトについて説明してくれていることはご存じか。また、石井町で、携帯電話やスマートフォンで被害にあった子どもはいるか。</p>	<p>入学時に、携帯電話会社が学校へ説明に来てくれていることは知っていますが、被害を未然に防ぐためには、先生方にも実際にスマートフォンを使用して、子ども達に指導できるようにしていただきたい。石井町では、被害にあった子どもはいないと承知しています。</p>
<p>英検3級を受ける場合は、町から補助がでていたが、去年からなくなったと聞いた。町で2人の外国人教諭もおられるので、放課後等、英検の練習をしてもらえないか。</p>	<p>平成26年度の英検の補助については、現在検討中です。町で雇用している外国人教諭については、英検の指導には関わっていません。ALTは指導しています。</p>

意見・質問・要望(項目のみ)	回答(要約)又はその後の対応
オーストラリア留学について。個人負担10万円、町負担20万円で、出来れば各学校2人ずつでも、今後何年か続けてほしい。また、当日の発表に行けなかった人もいたので、報告書的なものを出してほしい。	今年度は、合計9名が行きました。当面は、今と同じような形で続けていきたい。予算についても、国際交流基金で補助をしたので、来年も継続したい。発表については、各学校でもしていますが、文書的な報告書等は検討中です。
①全天候型のトラックとクラブハウスを作してほしい。 ②400mトラックを1本でも作ってほしい。	現在、石井町で大きなスポーツ大会を開こうと思っても施設がありません。野球場、サッカー場、テニスコートや体育館などトラック以外も含め、すべての施設を整えるのがいいと思いますが、財政的な問題もあり、现阶段では難しいと考えています。ご了承ください。
中央公民館の2階会議室について①クーラーの効きが悪いので、直してほしい。②ロックがはずれて持ち上がってきて、使えない机がいくつもあるので直してほしい。	①役場移転に伴い、使用可能なクーラーを移設予定です。 ②直すか、新しい机に替えさせていただきます。
藍畑分館について、補助金がなくても、町から1億5,000万円を出して、建て替えていただけると聞いたのですが。	耐震診断の結果が出ているので、補助が出る・出ないに関わらず、町単でも建て替えます。平成26年度当初予算で、公民館藍畑分館実施設計業務委託料を計上し、早期建設に向け努力しています。
高川原分館の流し台の水道の蛇口が、水漏れしているので直してほしい。	修理済みです。
分館運営委員会でコピー機が必要という声があったので、各分館にコピー機を購入してほしい。	コピー機も経費がかかるので、分館5つにそれぞれという訳にはいきませんので、分館長さんに、教育委員会や中央公民館のコピー機を使っていただきたい。
高川原分館の2階のトイレが和式なので、洋式に替えてほしい。	現状の2階トイレで使用できる洋式便座を検討中です。